

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme

EXPRESS--

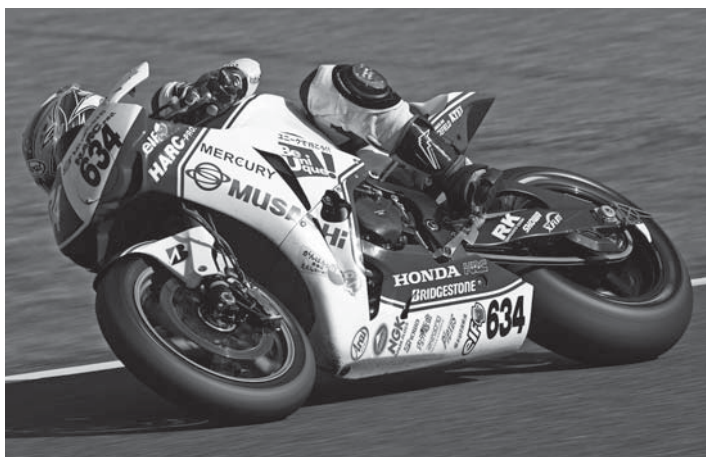
MFJ GP
SUZUKA

2011 43th MFJ GRAND PRIX
SUPERBIKE RACE in SUZUKA



加賀山就臣
Q3で逆転ポール!!

ついに迎えた最終戦MFJ-GP決戦! 秋吉耕佑がRace1、加賀山就臣がRace2のP.P.をゲット!! イニシアチブはどちらが握るか!?



今季秋吉耕佑を最初に破った高橋巧は、Q3で7秒1までタイムを縮めてトップ2を追う



前回岡山国際で優勝を飾った中須賀克行は、Race1を3番手、Race2は4番手からスタート



今年も全クラスのタイトル決定が持ち越されて迎えた最終戦MFJグランプリ。ひとあし早く土曜日に決勝レースが行われたGP-MONOクラスは、激戦の末、長島哲太が初の栄冠を獲得した。日曜日は、ST600から始まり、J-GP3、J-GP2、そして最高峰クラスのJSB1000と4人の全日本王者が誕生する。

JSB1000クラスは、ディフェンディングチャンピオンの秋吉耕佑が開幕4連勝を飾るなど、安定した走りポイントでリード。暫定ランク2番手の高橋巧に19ポイント差をつけV2に王手をかけている。公式予選では、Q1でトップタイムをマークし、Race1のポールポジションを獲得。Q3では、2番手に終わるものの、その差は僅かなものだった。「Q3では、ハード目のタイヤを履いたら、うまくタイムを出せなかった」とは言うものの2分6秒台に入れるところは、さすが車載タ。V2に向けて視界良好というところだ。

その秋吉に打ち勝ち、トップでチェッカーフラッグを受けたいのが加賀山就臣。Q3では、秋吉を抑えRace2のポールポジションを獲得するのは、さすが。世界で活躍してきた実力を見せつけた。「マシンは、いい感じに仕上がってきているし、今回は勝ちたいね。今シーズンは、自分のチームを立ち上げて参戦しましたが、終盤戦は、参戦を取りやめようかと思ったほど厳しい状態でした。それが多くの方のご協力のおかげで、最終戦まで来られました。だからこそ、今回は勝ちたいですね」と気合いの入る加賀山。

秋吉と加賀山の速さが際立っており、この二人が主導権を握るのは間違いない。これについていけそうなのが、高橋巧だ。高橋は、金曜日は、タイムが出ていなかったが、土曜日に前戦で調子がよくなった状態にしたところ、速さを取り戻した。「タイトルのことは“全然”とっていいほど考えていませんね。初日は、鈴鹿2&4の状態からスタートしたのですが、そのセットが、今回のウィークには全く合っておらず、タイムが出なかったのは、焦りました。調子のよくなった前戦の

土曜日の状態にしてもらったら、やっというフィーリングが戻って来ました。決勝では、秋吉さん、加賀山さんに離されないようにしたいですね」と高橋。2レースとも秋吉に食らいつき前でゴールしたいだろう。秋吉との間に他のライダーが入れば、逆転タイトルの可能性は十分ある。

前戦で2年振りに優勝を飾った中須賀克行も、しっかりタイムを出し、Race1で3番手グリッド、Race2で4番手グリッドからスタートする。「秋吉さんと加賀山さんは速すぎるので、難しいレースになると思います。スタートで前には出ず、後ろについてタイヤマネジメントをうまくしていきたいと思っています」と中須賀。先週は、MotoGPにケガをしたホルヘ・ロレンソの代役として初参戦。マシンの乗り換えにも、少し苦労しているようだが、走る度に調子を上げてきている。秋吉と加賀山のペースにもよるが、何とかついていき、最後に勝負を仕掛けていきたいところだ。

カワサキのエース、柳川明は、今回のレースウィークで初めて鈴鹿をニューZX-10Rにブリヂストンタイヤの組み合わせで走っている。他のライダーは、鈴鹿2&4、鈴鹿8耐なども走っているが、シーズン途中からタイヤを替えた柳川にとっては、全くデータのないところからのスタートとなっている。「セッション毎に、マシンはよくなっているけれど、絶対的に時間が足りない。もう1秒タイムを上げないと前のグループには入れないからね。もう一つ、やりたいことがあるので、決勝朝のウォームアップ走行で試して、それでよくなればトップ争いに加わるかもしれないね」と柳川。

その後方には、出口修、そして8耐以来の鈴鹿、スタンダードスイングアーム仕様のZX-10Rを駆る芹沢太樹、鈴鹿レーシングの徳留和樹、ドウカティ使用の須貝義行、スズキの雄、今野由寛と続いている。

2レース制で争われるJSB1000クラス。昨年は、Race1で中須賀が転倒を喫してV3を逃している。秋

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

吉と加賀山が速さを見せているが、この2人のペースによって、レース展開が見えてくるはず。果たしてどんな結末が待っているのだろうか!? 歴史に新たな1ページが刻まれる瞬間は、間もなくやってくる。

[佐藤 寿宏]

ノックアウト公式予選Q1 正式結果

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●[Race1]決勝スタート/11:10(15周)

Pos	No	Rider	Team	Time
1	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	2'07.108
2	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	2'07.482
3	21	中須賀 克行	YSP Racing Team with TRC	2'07.617
4	634	高橋 巧	MuSASHi RT ハルク・プロ	2'07.870
5	87	柳川 明	TEAM GREEN	2'08.817
6	01	出口 修	エヴァRT初号機トリックスターFRTR	2'10.303
7	54	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'10.542
8	10	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	2'11.411
9	02	芹沢 太樹	エヴァRT2号機トリックスターFRTR	2'11.904
10	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	2'12.525
11	20	北口 浩二	クラウン警備保障RACING	2'12.613
12	55	須磨 貞仁	CONFIA HMF	2'12.974
13	38	津田 一磨	Kohara Racing	2'13.028
14	11	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	2'13.077
15	18	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	2'13.219
16	19	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	2'13.383
17	15	戸田 隆	G-TRIBE	2'13.513
18	63	片平 亮輔	8810R with MCR	2'13.565
19	16	中村 知雄	チーム トモマサ	2'13.576
20	67	西中 綱	Honda DREAM RT 和歌山	2'13.640
21	17	高田 速人	TEAM Tras&8810R	2'13.814
22	23	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	2'14.020
23	43	村上 雅彦	チームラカミ & ウッドストック	2'14.237
24	30	鈴木 大五郎	KTM Racing	2'14.556
25	45	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	2'14.592
26	13	清水 都巳	ホンダドリームRT高崎B'WISE RT	2'14.751
27	22	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路!	2'15.120
28	37	田村 武士	テイクアップ OIRF	2'15.564

以上予選通過車両:
予選通過基準タイム(110%) 2'20.142

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1(第1セッション)にて記録されたタイム順となります。



Pole Position 秋吉耕佑 2'07.108(Q1)

「日曜は天気が悪そうなのでソフトでセットアップして、Q3ではハードに替えて走ってみたら、外しちゃったかなという感じ。アベレージはソフトもハードもあり変わらないと思う。まだ一発の速が出ないので、そこをどうしようかなと考えています。決勝は逃げられないと思いますけれど、おもしろいレースができるでしょう」

加賀山就臣 2'06.720(Q3) Pole Position

「今シーズン一度も勝っていないので、勝つことだけ考えて一生懸命やっています。九州や岡山はパーツが揃わず厳しい状況だったけれど、スポンサーのみなさんが一生懸命協力してくれ、最終戦はどうか出られることになった。決勝は(表彰台の)一番上からお礼を言いたいので、きっちり成績を残したい」



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



中上貴晶が他を圧倒! ポールポジションから レーススタート!!



Pole Position 中上 貴晶 2'11.720

「金曜の走行の1本目思った以上に痛みがあったので2本目はキャンセルして予選に挑みました。状態はだいぶ、よくなったけど無理するとケガが悪化してしまうのでバイクなりに走らせたという感じです。予選の序盤、ストレートで芝に出て振られたときに痛みがあったけれど、無事に走り終えられてよかったです。チームにも急ぎよパーツを作ってもらったり、いろんなことしてもらった以上は走れることが分かったのでリラックスして臨めた。いつもと違うアプローチのところで、攻めの走りじゃなくてスムーズに走るセッティングを求めているところです。バイクはもともと仕上がっているし、決勝も問題はないと思っています」



V2に向け好スタート 山口辰也がポール ポジションを獲得!!



Pole Position 山口 辰也 2'13.718

「バイクもタイヤもサスもいい感触だったけれど、予選の行われた時間が朝早かったので気温が低く、タイヤのグリップが悪かったので無理はしませんでした。決勝でもっと気温が上がれば、たぶんコースレコードを破れると思う。今シーズンも、みんなの応援でここまで来ることができました。昨年と同じような状況で最終戦を迎えたいけれど、勝てなかったんで、今年は勝ってチャンピオンを決めたいと思います」



仲城英幸が2戦連続 のポールポジション を獲得!!



Pole Position 仲城 英幸 2'19.286

「金曜日に走った感では、東コースをすごく楽しく走れるのが第一印象でした。プロトと一番、相性がいいのは鈴鹿だと分かっていたので楽しみにしていましたが、イメージ通りのタイムは出せなかった。予選では、なんとか2分18秒台に入れてコースレコードを出したかったけど、ちょっとミスして及ばなかったのが残念ですがポールを取れたことはうれしいですね。事前テストがなくてデータもなかったんで、オートポリス決勝朝のウォームアップのセットを元に煮詰めていったのですが、一発目からいい感じで走れました。自力でチャンピオン獲ることはできないので、決勝は、いつも通り全力で走って勝ちに行きます。NSFルーキーのつもりで1周目から積極的にいきますよ!」



- 予選・決勝開催日 / 10月29日(土)
- 天候・路面 / 予選・決勝(晴/ドライ)
- 決勝レース / 10周

RACE REPORT



写真 優勝:藤井謙汰(中央)と坂田和人チーム監督、2位:長島哲太(左) 3位:葛西雅迪

Champion 2011チャンピオン / 長島哲太

「決勝は混戦になると予想はしていたけれど、あそこまで台数が多くなると思っていなかった。謙汰はケガをしているせいか、S字とかでは、けっこう詰まってしまい、それに合わせると小室さんに抜かれてしまった。最後は小室さんと謙汰が前にいたとしても裏ストレートで小室さん抜いてシケインで謙汰を抜けたと思っていたので、ラスト3周となったシケインで試してみたらコースアウトしてしまいました。それまでチャンピオンのことが頭に引っかかっていて攻めきれなかったけれど、この順位(5位)で終わるくらいなら、と思いつて攻めました。最低でも表彰台は上りたかったので、2位でよかったけれど、GP-MONO最後のレースで勝たなかったのが悔しいですね。ただ、今年は多くの方に支えられてレースができたことが実感できたり、みんなのおかげでチャンピオンになれました。本当にありがとうございます。来シーズンも精一杯頑張ります!」

満身創痍の藤井謙太が 優勝! 長島哲太が2位で 初タイトル獲得!!

ポールシッターは長島哲太。ランキング2番手の藤井謙太は金曜の走行で転倒し、右足の甲を骨折するケガを負っていたが、2番グリッドをゲットした。

レース序盤は小室旭、長島、藤井、伊藤公一、田中歩、葛西雅迪の6台がトップグループを形成し、藤井、長島、小室がポジションを入れ替える展開だったが、追い上げた葛西が6周目のバックストレートで伊藤を抜き4番手に浮上。その翌周、3番手につけていた長島がシケインでオーバーランを喫い5番手にポジションを落としてしまう。

そして8周目には小室がデグナーカーブで転倒。このアクシデントを機に葛西がトップに立つが、シケインでは藤井がトップを奪う。

迎えたラストラップ。葛西と藤井のバトルは続き、3番手の伊藤の背後には長島が迫る。バックストレートで葛西が藤井の前に出るが、シケインでは藤井がトップに。長島もラストラップで一気に2台を抜き去り2番手に浮上。

藤井が今季2勝目を挙げ、最終ラップでレコードタイムをたたき出した長島が0.154秒差で2位となり、チャンピオンを獲得。3位には葛西が初の表彰台に立った。

WINNER

優勝 / 藤井謙汰

「ケガが思ったよりも痛くて、コーナーによっては踏ん張りがきかないところがあったり、S字の倒しこみが甘くなって刺さったりした。序盤、飛ばしていたわけではないのにトップを走れたから、その段階で、いい勝負ができるかなと思った。小室選手に一度シケインで抜かれたときも、立ち上がりで合わせて、コントロールラインでは自分が前に出られるか確認していたし、自分がトップにいる時はシケインでもっと加減するようにしていた。最後のシケインは最初の倒しこみが右なので、痛くてもステップから足をはずしてでも突っ込んでいくつもりでした」

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No	Rider	Team	Total Time
1	1	藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	24'00.794
2	45	長島 哲太	Projectu7C HARC	24'00.948
3	16	葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart	24'01.070
4	9	伊藤 公一	IRT	24'01.240
5	48	田中 歩	Garage 130R&MGC	24'11.781
6	4	松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	24'14.291
7	18	瀬古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	24'23.534
8	66	湯田 晨史	MFJ・RR・アカデミー・IF	24'23.700
9	7	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	24'23.821
10	3	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	24'38.258
11	14	山本 恭裕	広島カジナRacing&LRC	24'38.521
12	22	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	24'39.018
13	97	松永 弘志	REPSOL&TS関東-8810R	24'39.040
14	24	鴻池 冬伊	マジカルレーシング&ブルーポイント	24'39.305
15	75	古市 右京	ASPIRATION.A-next	24'39.756
16	23	高瀬 次次	近畿スポーツランド マックウェスタン	24'39.808
17	21	桶元 晃一	Garage 130R&Jr's	24'45.313
18	12	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	24'46.720
19	17	松江 保幸	Projectu7C HARC	24'47.131
20	88	中本 貴也	18 GARAGE RT With モリワキ	24'47.394
21	47	滝 かおる	RGニフ&高原様 & マイタウン薬局	24'55.889
22	28	阿部 徹郎	あべスビ・ヤマハ&セルコホーム	24'56.194
23	46	伊達 悠太	犬の乳産菌・JP/アブリティブ	25'01.709
24	52	大塚 浩二	team RISKY	25'02.285
25	25	岩本 有司	オールスターモータースポーツ	25'02.483
26	11	畑中 要	FTR・タイヤナビ	25'05.050
27	99	畑中 翔太	テルル・ハニーレーシング	25'10.099
28	31	中村 正秀	RT☆グローリーベア&ENG林	25'17.516
29	20	赤崎 清	CLUB・HARC-PRO.	25'20.389
30	19	岡崎 静夏	Kohara Racing	25'26.436
31	49	後藤 満	キートンRT☆横倉自動車工業	25'26.711
32	10	江崎屋 学	犬の乳産菌・JP/PRCS	25'30.940
33	37	増田 顕也	クラブM+松田豊+翔RT	25'34.256

以下フィニッシュライン不通過:

34	2	小室 旭	Team KOMURO with HARC	16'47.974
35	44	林 祥由	TEAM TECHNICA	17'25.702
以上 規定周回数完走:				
	50	鳥羽 運	チーム テック2 & TDA	7'17.103
レース中のベストタイムは No. 45 長島 哲太 Projectu7C HARC 2'22.568 10/10 146.99km/h				
規定周回数 7				

JSB1000

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●決勝スタート/[Race1]11:10(15周) [Race2]15:20(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'06.720
2	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	2'06.730
3	634	高橋 巧	MuSASHI RT ハルク・プロ	CBR1000RR	2'07.149
4	21	中須賀 克行	YSP Racing Team with TRC	YZF-R1	2'07.716
5	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	2'08.300
6	54	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	2'09.986
7	01	出口 修	エヴァRT初号機トリックスター-FRTR	ZX-10R	2'10.283
8	02	芹沢 太麻樹	エヴァRT式号機トリックスター-FRTR	ZX-10R	2'10.293
9	11	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	2'11.269
10	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000L1	2'11.684
11	10	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	2'11.981
12	20	北口 浩二	クラウン警備保障RACING	CBR1000RR	2'12.866

以上Q3にて決定:

13	55	須磨 真仁	CONFIA HMF	RSV4 Factory	2'12.044
14	19	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R1	2'12.314
15	38	津田 一磨	Kohara Racing	CBR1000RR	2'12.519
16	63	片平 亮輔	8810R with MCR	CBR1000RR	2'12.881
17	15	戸田 隆	G-TRIBE	S1000R	2'12.996
18	67	西中 綱	Honda DREAM RT 和歌山	CBR1000RR	2'13.042
19	18	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	2'13.117
20	16	中村 知雅	チームトモサ	CBR1000RR	2'13.450
21	17	高田 速人	TEAM Tras&8810R	S1000R	2'13.785
22	30	鈴木 大五郎	KTM Racing	RC8 R	2'14.716
23	23	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	2'14.889
24	43	村上 雅彦	チームムラカミ & ウッドストック	カワサキ ZX-10R	2'14.917

以上Q2にて決定:

以下Q1にて決定:

25	45	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	ヤマハ YZF-R1	2'14.592
26	13	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎B'WISE RT	ホンダ CBR1000RR	2'14.751
27	22	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路!	カワサキ ZX-10R	2'15.120
28	37	田村 武士	テイクアップ OIRF	スズキ GSX-R1000K9	2'15.564

以上予選通過車両:

★JSB1000[Race2]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q3(第3セッション)まで終了したタイム順となります。

J-GP3

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走32台
●決勝スタート/12:15(12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	10	P	仲城 英幸	Projectu7C HARC	NSF250R	2'19.286
2	7		徳留 真紀	Team Alliance & HARC-Pro.	RS125R	2'19.957
3	12	PY	藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	NSF250R	2'19.995
4	5	PY	渡辺 陽向	Projectu7C クルーズ	NSF250R	2'20.146
5	99	P	瀧美 心	テルル・ハニービーレーシング	NSF250R	2'20.510
6	1	Y	大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	2'20.698
7	3	P	森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	2'20.845
8	20	Y	山田 誓己	TEAM PLUS ONE	RS125R	2'20.852
9	8	Y	山本 剛大	Team NOBBY	RS125R	2'20.980
10	2		菊池 寛幸	チームウイリー	RS125R	2'21.195
11	45	P	岡田 義治	Projectu7C HARC	HP25RW	2'21.455
12	62	Y	佐野 優人	SRS-J	RS125R	2'22.713
13	73	P	小室 旭	Team KOMURO with HARC	NSF250R	2'22.762
14	86		山本 武宏	MARINEコスモス+中川+G	RS125R	2'22.844
15	25	P	高杉 奈緒子	モトバムwithヒゴボタマス	NSF250R	2'23.132
16	23		今中 満	team RISKY	RS125R	2'23.134
17	61	PY	亀井 雄大	18 GARAGE RT with SAKURAI	NSF250R	2'23.203
18	18		安村 武志	チーム テック2	TZ125	2'23.475
19	58	P	松井 洪弥	PLUS ONE&TSR	NSF250R	2'23.604
20	46		岩田 吉正	BATTLE FACTORY	RS125R	2'23.690
21	14	P	鎌田 悟	ENDURANCE+桶川スポーツランド	NSF250R	2'24.160
22	27		大塚 卓也	HondaブルーヘルメットMSC	RS125R	2'24.656
23	87		花房 将	ダリアレーシング 名人会 天歩	RS125R	2'24.708
24	63	PY	北見 剣	TEAM i-FACTORY	NSF250R	2'24.820
25	29		川瀬 啓一郎	KOHSAKA & バックヤードガレージ	RS125R	2'25.260
26	71	Y	藪田 孝速	i-FACTORY & team hirock	RS125R	2'25.403
27	75	P	Linc GILDING	チームヨシハル・K1Racing	NSF250R	2'25.588
28	36		引沼 雄太	YAMASHIN&RISEON	RS125R	2'25.912
29	26		天野 邦博	ホンダ狭山レーシングチーム	RS125R	2'27.015
30	88	P	高木 伸一	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	2'27.769
31	31		小川 亨	MuSASHi 小川サービス	RS125R	2'29.197
32	44		小沢 良美	GARAGE.M&チャウ&BB	RS125R	2'29.929

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム(110%) 2'33.214

Pはプロト車両を示す。YはYouthクラスを示す。

ST600

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走38台
●決勝スタート/10:10(12周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	山口 辰也	TOHO Racing MOTO BUM	ホンダ CBR600RR	2'13.718
2	3	中置 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	ヤマハ YZF-R6	2'13.878
3	11	佐藤 裕良	HITMAN RC甲子園ヤマハ	ヤマハ YZF-R6	2'14.433
4	9	渡辺 一馬	Kohara Racing	ホンダ CBR600RR	2'14.462
5	81	亀谷 長純	バーニングブラッドRT	ホンダ CBR600RR	2'14.507
6	12	津田 拓也	West Power	スズキ GSX-R600	2'14.507
7	10	國川 浩道	HiRaNo.92R	ホンダ CBR600RR	2'14.840
8	93	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	カワサキ ZX-6R	2'14.851
9	7	稲垣 誠	伊藤レーシングGMD・アケノS	ヤマハ YZF-R6	2'14.987
10	634	小川 龍太	MuSASHi RT ハルク・プロ	ホンダ CBR600RR	2'15.087
11	77	深津 拓真	チームスガイレレーシングジャパン	ホンダ CBR600RR	2'15.194
12	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	ホンダ CBR600RR	2'15.229
13	391	酒井 大作	TEAM ZEN&プラスワン	スズキ GSX-R600	2'15.411
14	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	ヤマハ YZF-R6	2'15.466
15	21	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	カワサキ ZX-6R	2'15.589
16	73	山本 修亮	MuSASHi RT ハルク・プロ	ホンダ CBR600RR	2'15.734
17	22	岡村 光矩	RSGファイバー・ドリーム北九州	ホンダ CBR600RR	2'15.835
18	76	清水 直樹	EXPRESS Hou You	ヤマハ YZF-R6	2'15.969
19	5	中山 真太郎	TEAMしんたろう with KRT	ホンダ CBR600RR	2'16.012
20	99	岩田 悟	テルル・ハニービーレーシング	ホンダ CBR600RR	2'16.047
21	45	相馬 利胤	Team Tane 45	ヤマハ YZF-R6	2'16.276
22	44	藤島 翔太	4Sure	ホンダ CBR600RR	2'16.537
23	71	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	ヤマハ YZF-R6	2'16.554
24	83	宮嶋 佳毅	モリワキクラブ	ホンダ CBR600RR	2'17.246
25	46	西嶋 修	SPa直入インストールwithフィービー	カワサキ ZX-6R	2'17.603
26	91	田中 裕太	RS-ITOH&FAST	カワサキ ZX-6R	2'17.658
27	31	手島 雄介	MotoMap SUPPLY	スズキ GSX-R600	2'17.693
28	24	井上 哲悟	RS-ITOH&FAST	カワサキ ZX-6R	2'17.986
29	48	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	ヤマハ YZF-R6	2'18.113
30	68	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	ヤマハ YZF-R6	2'18.132
31	28	医王田 章弘	RS-ITOH&ASIA	カワサキ ZX-6R	2'18.365
32	26	阿久津 晃輝	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	ヤマハ YZF-R6	2'18.505
33	53	近藤 湧也	GBSレーシング 興翔&篤志連	ヤマハ YZF-R6	2'19.013
34	61	犬木 翼	浜松チームタイタン	スズキ GSX-R600	2'19.435
35	63	矢作 雄馬	RT 森のくまさん佐藤塾	ヤマハ YZF-R6	2'21.365
36	82	原田 武人	グリーンクラブ能塚	カワサキ ZX-6R	2'21.787
37	41	Jaden HASSAN	Team CROSBY	スズキ GSX-R600	2'23.010
38	55	長谷川 直樹	CONFIA・HMF & AS小笠原	スズキ GSX-R600	2'24.072

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム(110%) 2'27.089

J-GP2

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走17台
●決勝スタート/14:15(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	中上 貴晶	MuSASHi RT ハルク・プロ	CBR600RR	R 2'11.720
2	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR6	2'12.451
3	71	山本 知良	C.I.P.TNU	TSR6	2'12.893
4	2	山口 辰也	TOHO Racing	MD600	2'12.957
5	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	2'13.311
6	3	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-R600L1	2'13.415
7	51	高橋 英倫	松戸フラッシュ&PLUS ONE	ZX-6R	2'13.838
8	41	宇井 陽一	41PLANNING / PRO-TEC	YZF-R6	2'13.952
9	77	稲垣 誠	伊藤レーシングGMDアケノS	YZF-R6	2'14.198
10	88	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'14.921
11	56	中本 都	リリカAMENA with OUTRUN	YZF-R6	2'15.406
12	31	野左根 航汰	ウエビック チームバリック ヤマハ	YZF-R6	2'15.730
13	57	齋藤 達郎	TEAM NORICKMATE	YZF-R6	2'16.704
14	46	星野 知也	ミクニBeat テリー&カリ	RGX-R600	2'17.031
15	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	アサヒナ Z600	2'19.097
16	10	中尾 健治	レイススポーツ	YZF-R6	2'20.604
17	24	小口 理	ALLMAN & OW RACING	YZF-R6	2'21.564

以上予選通過車両:

Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'13.122

予選通過基準タイム(110%) 2'24.892

INFORMATION

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

ピットウォーク券 販売場所: グランドスタンド下 ピットウォークチケットBOX

選手や、マシン、キャンペーンギャルにグッとアクセスできる！
小学生以下のお子さまは無料でご参加いただけます。

日時 30日(日) 13:00~13:40

料金 大人(中学生以上) 1,200円

子ども 無料

(ピットウォーク入場可のバスをお持ちの保護者同伴の場合に限ります)

※別途観戦券必要

※前売りにて完売の場合は、当日販売はございません。

※写真はイメージです。



09:55	ST600 コースイン〜選手紹介
10:10	ST600決勝レース 12Laps
10:55	JSB1000 コースイン〜選手紹介
11:10	JSB1000[Race1]決勝レース 15Laps
12:00	J-GP3 コースイン〜選手紹介
12:15	J-GP3決勝レース 12Laps
13:00-13:40	ピットウォーク
14:00	J-GP2 コースイン〜選手紹介
14:15	J-GP2決勝レース 15Laps
15:05	JSB1000 コースイン〜選手紹介
15:20	JSB1000[Race2]決勝レース 15Laps
16:30	※レース終了後〜サーキットクルージング